

星の夢百聞

～ 第142号～

発行日:2017年12月1日

発行:有限会社 おいらーく

札幌市東区北25条東20丁目7-1

発行人:星野 二三江

第2回

豊生会グループダイバージヨナルセラピー 事例研究発表会

最優秀賞

生きがいサロン
銭函センター長

高屋さん



平成29年10月22日に行われた「第2回豊生会

グループダイバージヨナルセラピー

事例研究発表会」において第3事業部代表

として、生きがいサロン銭函の取り組

みを発表させて頂き、最優秀賞という素晴らしい賞を頂く事が出来ました。

その発表内容を簡単ではありますが報告させて頂こうと思います。まず「DT」（ダイバー

ジヨナルセラピー）では、五感（視覚・聴覚・

嗅覚・味覚・触覚）への働きかけや自己選択す

るチョイスの要素を入れ「自分でやりたい」と

いう意思を引出し行動へと導きます。それが

は本題です。

「割烹着は元気の素

割烹着は主婦のアイテム」

生きがいサロン銭函に通われているAさんで

すが、デイに通われても、元気がなく活動に対

しても消極的な場面が多く見受けられました

が、昔ラーメン屋をしており、学生や地元住民

の方に大人気で大繁盛していた時の事は笑顔

で、とても嬉しそうにお話をしてくれていま

す。昔の話をしていてはただではなく、常に

笑顔で活気のあるAさんでいてほしいと思い、

意欲を引き出す役割が何かないかと考え、生き

がい銭函で行事として行っていた、利用者さん

と職員と一緒に作る「昼食作り」を毎日のプロ

グラムに加えAさんにアプローチしました。

Aさんに「昼食作り」のプログラムが出来たこ

とを伝えると笑顔で「やりたい」とおっしゃられ参加。

調理の前には割烹着や数枚のエプロンから自分で着たい

のを選んで頂き、割烹着をチョイス。その日の昼食メニ

ューを伝え、切り方や味付けもAさんと職員で相談しな

がら取り組みました。最初の数回は職員から声掛けをし

参加していましたが、徐々に自分から「昼食作り」の

プログラムを選び、割烹着をご自分で取りに行き取り組

むようになりました。材料を切る、味付けをする、盛り

付ける等の作業も手際よく行い、自慢の手料理をみんな

に食べてもらって「美味しい」と言ってもらえるのが楽

しみだとまで言っております。

また、「昼食作り」の活動をきっかけに、ご

自分から積極的に他の活動にも参加するようにな

りました。立って料理を作るには足腰が大事

と思い、健脚教室という歩行訓練に参加、昔は

お金の計算もしていたと話され100マス計算

にも取り組み、その他あげたらきりがなくぐら

い様々な活動にチャレンジしています。ご自分

で活動メニューを選び、割烹着を着る事で元気

でやりがいがあったラーメン屋時代を思い出

し、まだまだ現役と思えたことでイキイキと元

気に何に対してもチャレンジしているのだと思

います。これからも割烹着姿で元気に活動して

いるAさんでいてください。

ちなみに・・・Aさんは今年94歳になります

す。料理は大ベテランです。男性職員はいつも

料理を教えてもらっています（笑）



準優秀賞

てんやわんや本町 南保さん



今回豊生会グループダイバーショナルセラピー（DT）事例研究発表会にてんやわんや本町代表で出させていただいた南保菜々実です。

入社してから何度かこのような発表の場に出させていただく機会があり、その度緊張で手足はしゃつこく、表情ガチガチ、ギリギリまで原稿を読み上げ練習するもうまくいかず：毎回不完全燃焼。今回こそは！そんな思いで事例発表会に挑み、この度準優秀賞をいただくことができました。

「エプロン de 相乗効果
〜感情を揺さぶる仕掛け作り」

ここでこの発表に欠かせない大事な登場人物がいます。それは私の姪っ子です。5才と3才の可愛い子供達に「パン作りに行きたい」とせがまれておりこの機会と何か活動結びつけることはできないかこの想いから今回の事例に繋がっていきます。

てんやわんや本町では活動に消極的なTさんに以前のような活発な活動を取り戻してもらいたく、得意な手芸を用いアプロンした事例を報告しました。最近消極的に読書して過ごすことが多く、活動を提案・提供しても仕方なく取り組んでくださるTさん。どうにか前向きに取り組んでもらいたい！私達は考えました。原因として活動を提供しても目的が曖昧また興味がそそられる物ではなかった。そして何よりTさん

自身も忘れてしまうため、前向きになれないことがわかった。活動の中で楽しさや嬉しさなどを感じ、また忘れてしまっても思い起こすことさえ出来れば、以前のような活動を取り戻すことができるのではないかと思い、取り組みました。

- ① 目的を明確にする。
- ② 「子供達にエプロンを作る」
- ③ 忘れてしまってもいつでも振り返ることのできる手順書の作成
- ④ Tさんが子供達に完成したエプロンを直接渡す。
- ⑤ 子供達とパン教室と一緒に参加する。
- ⑥ 活動の写真やアルバムにして渡す。このような流れで行いました。

今回この一連の活動で子供達のため前向きに製作に取り組んでくださり、度々手順を忘れてしまう場面はありましたがその都度手順書を確認し、アイデアなど積極的に取り入れ可愛いエプロンを完成してくれました。

パン教室当日初対面の子供達に対し照れくさそうにエプロンを手渡し、完成させた達成感や渡せた感動により涙を浮かべておりました。子供たちの無邪気な笑顔と「一緒にパンしよう」の声に、Tさんパン作りへ参加。笑顔・笑い声絶えないパン教室となりTさんの心に残る二日となりました。これを期にアルバムを見ながらあの日の楽しかったことを思い出し、今でもパン教室参加して下さっています。

てんやわんや本町に通ってくださっている皆さんに1日1日心に残る日となるよう、これからも職員一同取り組んでいきたいと思えます。

特別賞

えくぼ 東出さん



発表会へ行きましょう！〜DTW出張〜

第2事業部ではタイトル通り、私は歌を、I様は手話を会場発表するとう緊張感満載の取り組みを行いました。I様のADLの低下が見られていたことから意欲と刺激を持っていただければとの思いから始めました。

実際、会場に行く事に様々な不安もありましたが、すべてI様が吹き飛ばしてくれました。当日の朝、いつもより姿勢が良く「迎えにきてくれるの？いつ？」と、しっかりとお話しされていました。開場してから「微熱がある」との連絡！

私は、パニックです！娘様に連絡をすると「大丈夫でしょう」と心強いお言葉をいただき安心。本番15分前、I様と最終確認。「できないよ」「じゃあ、やめましょうか？」「やる」待つてました！もう、やるしかない！と覚悟を決めた二人は会場へ…。

いよいよ、第2事業部DTWも登場です。この日のために、I様の元へ日替わりで出張して、一緒に手話を練習し、ついにこの日を迎えました。

皆様の力を借りて最後まで、歌いきり、手話をやりきることができ、ほっとしたのが正直な感想でした。失敗も成功もいらないのです。ただただ、やり遂げる事が今回のテーマだったような気が今になって思います。協力して下さった娘様、開場の皆様、第2事業部のスタッフ、数々の方、ありがとうございました。

※戴いた参加賞は二人で山分けしてプリンをたくさん買いました！



理事長賞

えくぼ元町 道下さん



朝のびっくり大作戦〜ルームビジットとスタッフへのDT普及〜

第二事業部 看護小規模多機能型居宅介護事業所 えくぼ元町は、

「朝のびっくり大作戦ルームビジットとスタッフへのDT普及」というタイトルで発表させて頂きました。

発表の内容は、お話し好きで明るくご飯が大好きな方が、急に元気がなくなり表情も乏しく、食事をたべなくなってしまう食事介助や食事場所など変えてみたが変化が現れず、体重も落ちていく一方だった方へのアプローチです。

8時〜8時15分と毎日決まった時間に日替わり交代で食事介助として専属（ルームビジット）としてお部屋に入りDTを取り入れました。

「Aさんの笑顔を引き出したい」「脳を揺り動かすような刺激を与えたい」と各職員があの手この手を考え、五感の刺激を工夫して実践しました。

マッサージや手品を披露したり、ファイターズのユニフォーム、大好きな羽生結弦さんのポップなど持って行きびっくりさせるなど笑いを交えながら行いました。スタッフ間でも昨日はどんな事をしたの？Oさんはどんな様子だった？笑顔はみれた？どんな言葉が出た？等、DTに興味をもち取り組んでいました。

職員も出てきて職場へのDT普及も大きな成果としてあげられました。発表の最後に一輪のバラを前に素敵な笑顔で浮かべた写真を出したところ、会場も盛り上がりホッとした私でした。全部で14タイトルを終了して名誉なことになりました。星野理事長賞を頂くことができました。DTWとしてとても励みになりこれからは頑張りたいと思います。

DTWの自分より積極的にアプローチする職員も出てきて職場へのDT普及も大きな成果としてあげられました。

発表の最後に一輪のバラを前に素敵な笑顔で浮かべた写真を出したところ、会場も盛り上がりホッとした私でした。全部で14タイトルを終了して名誉なことになりました。星野理事長賞を頂くことができました。DTWとしてとても励みになりこれからは頑張りたいと思います。

「おはよう♡」
「天気は？」



芹澤賞

うらら 本間さん



うらら伏古では、セラピードール「たーたん」を用いた利用者様への関わりを発表しました。

うららに入居されてから約一年、他の方々との関わりがほとんどなく、表情も乏しいH様。コミュニケーションと呼べるものはスタッフとの会話のみで、言葉も「うん」や「いや」といった具合。そんなH様へのアプローチのひとつとして、たーたん人形をお見せしたところ、「かわいいなあ！」と表情が一変し、満面の笑みに。それがスタートでした。

それからというもの、H様の側にはたーたん人形がいるようになりました。花子という名前もつけて更にかわいがり、明るい表情で過ごされることが増えていきました。これまで一切関わりが無かった他の入居者様と、花子を通じて会話も生まれるようになりました。これまで無表情で、ボヤーンと1人の時間を過ごしていることが多かったH様にとって、とても大きな変化です。

関わりはまだまだ始まったばかりですが、これからは花子をかわいがって下さることに期待し、更に活動的なH様になって頂けるよう、スタッフも一丸となって関わっていきたくと考えています。

さて、突然ですが皆さんは幼い赤ちゃんを抱っこする時、どのようなことに気をつけますか？首のすわっていない赤ちゃんを抱っこする時には、しっかりと首を支えてあげなければいけないですし、あやす時はやさしくリズムをとらなければなりません。一言に赤ちゃんを抱っこするといってもたたくさんの要素が含まれるのです。お子さん、孫・ひ孫さんを抱っこしたのはいつですか？つい最近の方もいれば、もう何年も抱っこなんてしていないという方もいらっしゃるでしょう。ぜひ、たーたん人形を抱っこしてみてください。人形と分かっているだけでも、落としてはならないと気が引き締まります。そして

気持ちがあんわかします。毎日変わり映えしなくて退屈だと思っ方、新たな子育ていかがですか？



オーストラリアDT研修報告



松橋さん

10月2日(月) 9日(月)にオーストラリアのシドニー、ブリスベン、ゴールドコーストへDT

研修に行ってきました。オーストラリアは日本のような介護保険制度は無く、ACCAT(エーキャット)と呼ばれる老年課の医師、看護師、SW、OT、PT、STらの中から、評価を受ける本人の状況に最も適した専門家のチームによって要介護認定が行われますが、オーストラリアでは、在宅でも施設入所でも本人の意思が最重要視されます。

この評価制度の目的は、高齢者の状況を把握するとともに「不必要な入所を防ぐ」ことであり、認定に当たるACCATは「施設入所の門番」とも呼ばれています。

このACCAT以外に補助金の算定のために設けた新たな基準で、施設看護師からのアセスメントによって、より細やかなサービスが専門職によって受けることができます。

オーストラリアの連邦法では弱者法という法律があり、お金を持っていない方も平等に介護を受けることができます。その為、日本では大金持ちしか入れないような超高級老人ホームにも普通の年金生活者も住むことができるのです。

現在、世界の福祉先進国の取り組み

は、在宅介護を中心とする地域介護にコミュニティ・ケアが主流となってきましたが、その契機となったのは、実はオーストラリアであるといわれています。

◀ゴールドコーストの高齢者住宅。2階から4階が介護付の有料老人ホーム、5階〜36階が高齢者マンション



◀何と！日本では一度絶滅したトキを発見！結構大きいです！この鳥の名前はオーストラリアクロトキという名前です、そのへんにいるとのこと。雑食性で生活ゴミも食い散らかす為、オーストラリアでは一番嫌われている鳥だそうです。日本で言うカラスと同じようです。



神山さん

高齢者が増加するということからは、介護施設の入居者も増加するため、それに伴って施設や介護員

の数が不足するなどの問題が出てきます。そこで私は、現在の介護施設で起こっている問題や、その問題に対する解決策を学び、将来のおいらーくに生かしたいと考えました。オーストラリアの施設の特徴は、それぞれの階に大きなリビングルームがあり、そこに入居者の方たちが集まって様々な職種の職員と談笑したり、他の入居者と一緒に食事をとったりして、まるで家族のような雰囲気味わえる空間を楽しむことができることです。高齢者で介護を受ける立場だからといって、ずっと職員がついているわけではなく、「施設がただ死を待つのみ場所とならないように」という理念をモットーに、要介護状態、介護予防にあつては要支援状態にある高齢者の有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援していました。



▲麻雀のようなゲームで脳トレをしている女性

また、DRTA(オーストラリアDT協会) National Conference 2017では、様々な事例を基にお話を聴かせていただきました。ダイバーショナルセラピーとは特定のセラピー(療法)を指すのではなく「1人1人の方が1日を暮らす」事に必要と思われるセラピーであり、意味のあるレジャー・レクリエーションを計画的に実践して、さまざまな障害によって心身の活性が低下し存在感を無くした状態から、幸福感の持てるように、導き出すことを計画的、且つ意図的に生み出していくための手法です。

高齢者が自分らしく楽しむことができ、自らの人生に自信をもって平穏な日々を過ごすことのできる「生活ケア」の手法を体系化し、明確な理念と目的をもってコーディネーター「人材」が必要ではないかと考えさせられました。



▲右麻痺の方が鳥の絵を描いている



▲時計の部品を使っての作品作り

DTってなーに？

せんり DTセッション

10月24日(火)にせんりでセッションを開催しました。DTワーカーのいないせんりでしたが、おいらーくDTワーカーの方々のアドバイスをいただき、せんりスタッフ一同、得意分野を活かして日々準備に取り組みました。

セッションでは、日頃外の空気に触れる機会の少ない入居者さんに、室内であっても季節の移ろいを感じていただきたいと、フロアに手作りの木を設置しました。秋の雰気表現するため、拾い集めた落ち葉・栗などで音と感触を、ぶどう・柿で秋の味覚を楽しんでいただくというテーマで行いました。

当日は芹沢先生の提案で、落ち葉を雪のように上から散らし、秋らしい雰気が始まりました。落ち葉が落ちてくると、みんな一斉に手を広げて取ろうとしたり、床にある落ち葉を足で踏んだりと感触を喜ばれていました。色鮮やかな落ち葉の中から気に入った葉やどんぐり、栗などを選んでもらいカゴに拾っていただきました。落ち葉をさわりながら手振りを付けて歌っていると、一人の方が突然立ち上がって踊り始めたりと、笑顔いっぱい盛り上がりました。ぶどうの収穫では、装飾のぶどうと本物のぶどうを用意しました。本物のぶどうを手で触り「このぶどうがいいな。これ食べたい。」と収穫したり、「ぶどうを食べたのは久しぶりだよ。昔は家族と一緒に取りに行ったことがあるよ。」と昔を懐かしま

れていました。今回のセッションで入居者様は五感で秋を楽しむことができた様子で、昔懐かしい情景を思い出されたのか、生き生きと、とても良い表情で過ごされていました。

私たちスタッフも、このセッションを通して入居者さんの新たな一面を知る事ができたことを、今後の自立支援につなげていきたいと思えます。最後に、DTワーカーの皆さんのご協力が無事に行うことができました。感謝いたします。ありがとうございました。



せんり 松岡 法子





住宅型有料老人ホーム 1周年の集い!

CoCo元町式番館

先日、おかげさまでCoCo元町式番館は開設から一周年を迎えることが出来ました。11月という年末近い時期からの開設でしたが、春先以降は全四十室ほぼ満室の状態が続いています。

やはり一年という時間を振り返ると色々な出来事があるものですが、開設から満室になるまでの期間では特に、たくさんの方々との出会いがあるという事でもあります。多くの入居者様や、ご家族様からも「このホームに入れて良かった。」という言葉を頂くことができて嬉しく思います。

一周年の記念の日には、厨房を切り盛りする職員もいつも以上に腕を振るって、お寿司や天ぷらなど感謝の気持ちを含めたお食事を用意して召し上がって頂くことが出来ました。

皆様との縁があつて今を一緒に過ごす事が出来ています。仲の良い方同士での談話、皆で参加する体操、得意の手芸を活かして作る壁飾り、いつも食堂で過ごす人、短歌・俳句を詠む人、移動販売や出前カフェが来る日を心待ちにしている人、デイサービスのない日には自分でリハビリに勤しむ人等等、人それぞれ思い思いの過ごし方で毎日が流れています。

ホームの主役はお住まいになられている皆様です。これからもホームでの生活が楽しく充実したものになるように入居者様同士での創意工夫をして頂きながら、側にいる職員

もお手伝いをしていけたらと思っています。



えくぼ所長
大場 絢太



特集！ 人間万事塞翁が馬



似顔絵作：松田 郁美

誕生

パープルロード元町に入居されて間もなく一年になるーさんは昭和25年11月23日、佐賀県で農家をされていたご両親の元に8人兄弟の二男としてお生まれになりました。

幼少期

子供の頃はメンコ、チャンバラごっこを友達と良く遊んだよ」と懐かしそうに教えて下さいました。小学2年生の図工の授業で、当時テレビ放送していたアニメ「まぼろし探偵」の主人公の絵を描き、先生に褒められた事がきっかけで中学卒業までは絵を描く事に夢中になっていました。

社会人

中学卒業後は神奈川県板金工場に就職しますが、18歳で運転免許を取得して転職した長距離運転の仕事は、日本中色々な土地を走る事ができて楽しかったそうです。

30歳で結婚をされてお二人の娘様に恵まれ、37歳の時に奥様の出身である札幌市東区に家族4人で引越されました。

転居後

派遣会社で勤務しながら、休みの日には円山動物園、三井グリーンランドなど家族4人で楽しめる場所に出掛けました。今は3人のお孫様にも囲まれて「ちよこちよこ孫に会えるのが楽しみ」と目を細めておりました。

現在の楽しみ

「パープルロード元町に入居してのんびり過ごせているよ」とおっしゃり、本を読んだりテレビを観たりして過ごされ、NHK連続テレビ小説と大ファンの沢口靖子さんが出演している「科捜研の女」は欠かさず観ているそうです。

職いからのメッセージ

これからもーさんには健康に過ごして頂きながら、お孫様たちに囲まれて楽しい思い出をたくさん作って頂きたいと思っております。

好きな歌

ピーター・ポール&マリー

「パフ」



第32弾！

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



★注：前号に引き続き健康な人は読まないでください。
私が現在服用中の薬はアムロジピンとオルメサルタンという。高血圧及び狭心症の薬だ。それぞれ引退表明した安室奈美恵と残忍な悪魔を連想させる。ところで薬の名前って語尾がこのように「ン」で終わるものが圧倒的に多いのですよ。特に市販薬においては。

有名なものを列挙するとアリナミン・バファリン・ノースン・ロキソニン・ケロリン・ビオフェルミン・キャベジン・パンシロン・サクロン・ガスターテン・パブロン・ジキニン・イソジン・マキロン・パテリン・キンカン・リポビタン・オロナミン・グロンサン・リゲイン・タフマン・オロナイン・タマリオンなど。漢字だつて正露丸・毒掃丸・救心・太田胃散・龍角散・改源・宇津救命丸・樋屋奇応丸など枚挙に暇がない。

では何故「ン」で終わる名前の薬が多いのか？昔輸入された薬の名前。ペニシリンやアスピリンの影響、そしてそもそも薬の成分がアセトアミノフェンやイブプロフェン（風邪薬の場合など）で終わる化学物質が多いためとも言われる。こじつけだろうが「ン」は「運」につながり縁起が良いとの理由もあるらしい。

胃腸薬の面白いアンケートがある。「名前から最も効きそうな薬はどれですか」の問いに「ガスターテン」が1位。次いで「名前が最も覚えやすい薬は？」の問いには「キャベジン」が1位。そして「最も親しみやすい名前の薬は？」の問いでは「太田胃散」が1位。つまり語尾が「ン」で終わる薬は効きそうに覚えやすく親しみやすいのだ。

例えば「ウコン」も「高麗人参」も「すっぽん」も「スーパーマン」も「力道山」も「クマモン」も「ン」が語尾だ。どれも確かに効きそうに覚えやすく親しみやすい。「ン」で終わる響きには「最後は私に任せなさい」という静かで揺るぎない自信を感じる。「ン」が五十音順最後の言葉であるからだろうか。いずれにしても「ン」が持つ魔法的效果と思われる。

私の大好きな井物「カツ丼」「牛丼」「天丼」は当たり前だが全部「ン」で終わる。「ラーメン」「チャーハン」「おでん」もまだあるぞ。ああ「日本」に生まれて良かった。

されど思い起こせば私の人生は「怠慢」と「肥満」であった。かつて美貌を誇った妻は今や立派な「オバサン」だ。もちろん私も「オジン」である。お互い「残念」だが「我慢」するほかない。「ン」にはマイナス効果の「ン」もあるのだなあ……とほほ。

おいらーく

11月行事内容と12月行事予定

平成29年12月行事予定

平成29年11月行事内容とイベント風景

平成29年12月行事予定

平成29年11月行事内容とイベント風景

せんり	○クリスマスお楽しみ会 ○1丁目カフェ
うらら伏古	○20日 クリスマスツリー見学
ココロ東雁来	○12日 「喫茶ココよ」 ○15日 衣類移動販売「猫目」 ○21日 「Xmas」
東雁来式番館	○20日 「Xmas」
ココロ元町	○出前カフェ ○映画鑑賞会 ○外出レク ○笑いヨガ
元町式番館	○某日 防災避難訓練 ○24日 クリスマス会
えくほ東	○調理レク&おやつレク ケーキに挑戦!?(サテライト) ○クリスマス会 サテ本体合同
えくほ元町	○札幌ファクトリーツアー (日程は調整中)
えくほ&ハーフブル	○2日 第3区町内正月飾り作り ○16日 第3区町内もちつき大会 ○22日 クリスマス会(サテ) ○24日 クリスマス会(本体)
グループホーム夢	○誕生会 ○17日 もちつき家族交流会 ○クリスマス会

○5日 移転1周年 寿司パーティ			
○22日 1丁目カフェ ○25日 運営懇談会			
○14日 札幌中学校研修 ○18日 運営懇談会 ○29日 寿司行事			
○14日 「喫茶ココよ」 ○28日 おとめの会主催「朗読会」			
○2日 考流学舎主催 「一丁目カフェ」 ○17日 外食へGO 「回転寿司 トリトン」 ○21日 衣類訪問販売 「ブランシェ」			
○8日 出前カフェ ○19日 映画鑑賞会 ○21日 ヴァイオリンコンサート ○月20回笑いヨガ			
○5日 一周年記念会 ○中旬 リース作り ○22日 出前カフェ ○25日 花飾り作り			
○お寿司握り隊 ○調理レク(サテ)			
○6・29日 アリオワンにヤンツアー ○21日 ヴァイオリンコンサート			
○7日 外出(ミスタードーナツ) ○17日 避難訓練(サテライト) ○21日 バイオリン演奏会			
○新そばパーティー ○誕生会 ○札幌北中学校 職場体験			

経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。